

5 階

5 階は、攻撃時の作戦室として使われたのだろう。この階の両側にある床の間は、屋根の破風によって作られた内部空間である。城内の多くの柱は時代とともに建て替えられていますが、この階の柱はすべて 16 世紀当時のままの木材を使用している。

6 階

6 階は見張り台として使われたようで、広い窓は四方八方に面し、四方の山々まで見渡すことができる。この階には天井がなく、複雑な片持ち梁の屋根の構造が見える。屋根の内側には、城の守護神とされる二十六夜神を祀る小さな祭壇がある。